

令和8年度 定期健診診断 コード表

別紙9

各項目の自動判定基準は指定する基準で判定
健康診断年月日、西暦で記入

①既往歴・治療中病名コード表（ファイル項目説明書中、P6 項目順番「75 既往歴」、「76 療養中病名」、「77 定期検査中病名」）

なし	00	なし		49	高血圧症
感染症	01	結核	循環器疾患	50	狭心症
	02	B型肝炎		51	心筋梗塞
	03	C型肝炎		52	拡張型心筋症
	04	その他感染症		53	房室ブロック
	05			54	左右脚ブロック
	06	胃がん		55	心房細動
新生物	07	大腸がん		56	不整脈
	08	肝臓がん		57	くも膜下出血(後遺症を含む)
	09	乳がん		58	脳内出血(後遺症を含む)
	10	子宮がん		59	脳梗塞(後遺症を含む)
	11	悪性リンパ腫		60	動脈硬化症
	12	その他悪性新生物		61	大動脈瘤、解離性大動脈瘤
	13	良性新生物(子宮筋腫など)		62	その他循環器疾患
	14			63	
造血・血液	15	貧血	呼吸器系の疾患	64	気管支炎
	16	その他血液・造血器の疾患		65	肺気腫
内分泌疾・患・代謝	17	糖尿病		66	喘息
	18	バセドウ病		67	睡眠時無呼吸症候群
	19	脂質異常症		68	その他呼吸器疾患
	20	その他内分泌・代謝疾患		69	
	21			70	胃・十二指腸潰瘍
精神	22	アルツハイマー病	消化器系の疾患	71	アルコール性肝疾患
	23	健忘症		72	慢性肝炎(アルコール性、ウィルス性を除く)
	24	アルコール依存症		73	肝硬変
	25	統合失調症		74	その他肝疾患
	26	心因反応		75	胆石、胆のう炎
	27	躁うつ病		76	膵炎
	28	うつ病(うつ状態等)		77	クローン病
	29	神経症(抑うつ神経症、神経症性うつ病等)		78	潰瘍性大腸炎
	30	パニック障害		79	その他消化器系の疾患
	31	適応障害		80	
	32	不眠症	皮膚	81	皮膚・皮下組織の疾患
	33	摂食障害		82	慢性関節リウマチ
	34	その他精神疾患		83	痛風、高尿酸血症
	35			84	変形性膝・股関節症
	36	パーキンソン病		85	脊柱管狭窄症
神経系	37	てんかん	筋骨格系の疾患	86	頸肩腕症候群
	38	自律神経失調症		87	腰痛症
	39	心身症		88	骨粗しょう症
	40	更年期障害		89	全身性エリテマトーデス
	41	その他神経系疾患		90	その他筋骨格系の疾患
	42			91	
眼疾患	43	白内障、緑内障	尿路疾系の疾患	92	腎炎
	44	網膜色素変性症		93	ネフローゼ症候群
	45	その他眼疾患		94	人工透析中
耳	46	メニエール病		95	尿路・尿管結石
	47	難聴		96	前立腺肥大症
	48	その他耳疾患	その他	97	交通事故、不慮の事故
				98	その他の疾患
				99	

②自覚症状コード表（ファイル項目説明書中、P6 項目順番「78 自覚症精神」、「78 自覚症身体」）
まず、精神面(番号21～25)を5つまで、次に、身体面(それ以外)を5つまで

01	頭痛・頭重がよくある
02	手足のしびれがある
03	ろれつが回りにくい
04	最近視野が狭くなった
05	物が二重に見える
06	歩く時によろけることがある
07	胸がしめつけられるような痛みがある
08	動悸・息切れがある
09	食欲がない
10	急に体重が減った
11	急に体重が増えた(妊娠を除く)
12	よく嘔気・嘔吐がある
13	空腹時に胃腸が痛む
14	便秘・下痢をする
15	腰や背中がよく痛む
16	肩や首筋がよくこる
17	毎晩、睡眠中に大きなびきをかく
18	睡眠中によく息が止まると指摘される
19	昼間、我慢できないほどの眠気がある
20	
21	毎日のように、ほとんど1日中ずっと気分が沈んでいる
22	何に対しても興味がわからず、楽しめない
23	毎晩のように、寝付けない、夜中や早朝に目が覚める
24	毎日のように、自分に価値が無い、又は、申し訳ないと感じる
25	毎日のように、仕事や家事に集中したり、決断することができない
26	
27	
28	
29	
30	めまい・耳鳴りがある
31	その他気になることがある ()

③他覚症状コード表(ファイル項目説明書中、P6 項目順番「80 他覚症状」)

00	他覚症状なし
01	顔面・結膜蒼白
02	結膜充血
03	結膜黄変
04	扁桃肥大
05	爪異常
06	皮膚炎・湿疹
07	呼吸音異常
08	心音異常
09	四肢浮腫
10	四肢振せん
11	静脈怒張(瘤)
12	脈拍異常
13	関節異常
14	運動異常
15	肝・脾腫大
16	その他の症状

④BMI (ファイル項目説明書中、P1 項目順番「14 BMI」)

計算式 $BMI = \text{体重(kg)} \div \text{身長(m)}^2$ 小数点以下第2位四捨五入

⑤心電図所見コード表（ファイル項目説明書中、P5 項目順番「64 心電図所見」）

000	異常なし	611	上室性期外収縮(散発的)
110	右軸偏位	612	上室性期外収縮(頻発的)
120	左軸偏位	621	心室性期外収縮(散発的)
210	右室肥大	622	心室性期外収縮(頻発的)
220	左室肥大	623	心室性期外収縮(short run,RonTmultifocal)
310	異常Q波	631	心 房 細 動
320	ST上昇	632	心 房 粗 動
330	ST低下	641	WPW症候群(非頻脈性)
340	陰性T・二相性T	642	WPW症候群(頻脈性)
350	T波平低	651	発作性上室性頻拍
360	T波增高	652	発作性心室性頻拍
370	R波減高(poor progressive R)	660	洞 性 徐 脈
410	1度房室ブロック	670	洞 性 頻 脈
421	2度房室ブロック(WENCKEBACH)	680	その他の不整脈
422	2度房室ブロック(MOBITZ2)	710	右 房 負 荷
430	3度房室ブロック	720	左 房 負 荷
440	PR短縮	731	房室結節調律
511	不完全右脚ブロック	732	冠状静脈洞調律
512	完全右脚ブロック	733	移動性ペースメーカー
521	不完全左脚ブロック	734	ペースメカリズム
522	完全左脚ブロック	810	右 胸 心
531	二枝ブロック(右脚+左脚前枝)	820	低 電 位 差
532	二枝ブロック(右脚+左脚後枝)	830	Q T 延 長
		900	そ の 他

⑥眼底所見コード表（ファイル項目説明書中、P7 項目順番「100 眼底所見」）

1	視神經乳頭の異常	4	その他の網膜異常	7	その他所見あり
2	網膜血管障害	5	網脈絡膜変性・萎縮	8	判定不能
3	糖尿病網膜症疑い	6	黄斑部異常	9	未検査

⑦胸部X線

- 胸部X線撮影区分（ファイル項目説明書中、P5 項目順番「66 撮影区分(直接・間接)」）

1:直接撮影 2:間接撮影
- 結核判定結果（ファイル項目説明書中、P5 項目順番「68 結核判定」）

0:結核異常なし 1:結核異常あり
- 胸部X線所見コード表（ファイル項目説明書中、P5 項目順番「69 胸部所見」）

00	無所見	17	ブ ラ
01	学会分類 I	18	肺門縦隔リンパ腺
02	学会分類 II	19	サルコイド
03	学会分類 III	20	縦隔腫瘍
04	学会分類 IV	21	肺腫瘍
05	学会分類 V	22	心陰影拡大
06	石灰化巣	23	大動脈影異常
07	胸膜癰着	24	肺門血管影
08	胸膜炎	25	肺野血管異常
09	胸部手術	26	プラーク
10	肺 炎	27	
11	慢性気管支炎	28	肋骨異常
12	喘 息	29	脊椎異常
13	肺気腫	30	索状陰影
14	肺線維症	31	円形陰影
15	気管支拡張	32	浸潤陰影
16	蜂巣状肺	99	そ の 他

⑧結核病型コード表（ファイル項目説明書中、P6 項目順番「71 結核病型」）

1桁目		2桁目		3桁目		4桁目	
病 側		病 型		病巣の拡がり		特殊型	
右(right)	R	0 無所見	0	0	0	H 肺門リンパ腺腫脹	H
左(left)	L	I 広汎空洞型	1	1	1	P1 渗出性肋膜炎	P
両方(both)	B	II 非広汎空洞型	2	2	2	OP 手術のあと	O
		III 不安定非空洞型	3	3	3	なし 上記以外	空欄
		IV 安定非空洞型	4				
		V 治癒型	5				

※ 結核病学会病型分類にならって作成しています。

⑨各検査項目の判定符号の意味（ファイル項目説明書中、各「判定」）

符号	意味
N	異常なし(基準値)
N2	要経過・生活改善が必要
N3	要再検査・医療管理下での生活改善が必要
W	精密検査・治療が必要
Z	治療中
Y	特記事項(補聴器使用、生理中)
X	未検査

⑩生活習慣病指導区分コード表(定期健診・人間ドックの指導区分)

1 個別指導区分

循環器検査（ファイル項目説明書中、P7 項目順番「86 循環器指導区分」）

検査名称	循環器指導区分
喫煙状況 BMI 中性脂肪 HDLコレステロール LDLコレステロール 血圧 心電図 眼底	健診機関の医師が、左記の検査項目の結果を総合的にみて、循環器に対する指導区分 A1・B1・C1・C2・D2・D3 を判定する

糖尿病検査（ファイル項目説明書中、P7 項目順番「87 糖尿病指導区分」）

検査名称	糖尿病指導区分
随時血糖 ヘモグロビンA1c 眼底	健診機関の医師が、左記の検査項目の結果を総合的にみて、糖尿病に対する指導区分 A1・B1・C1・C2・D2・D3 を判定する

腎臓病検査（ファイル項目説明書中、P7 項目順番「88 腎機能指導区分」）

検査名称	腎臓病指導区分
尿蛋白 尿潜血 クレアチニン e-GFR	健診機関の医師が、左記の検査項目の結果を総合的にみて、腎臓病に対する指導区分 A1・B1・C1・C2・D2・D3 を判定する

肝機能検査（ファイル項目説明書中、P7 項目順番「89 肝機能指導区分」）

検査名称	肝機能指導区分
GOT(AST) GPT(ALT) γ-GTP	健診機関の医師が、左記の検査項目の結果を総合的にみて、肝機能に対する指導区分 A1・B1・C1・C2・D2・D3 を判定する

痛風検査（ファイル項目説明書中、P7 項目順番「90 痛風指導区分」）

検査名称	痛風指導区分
尿酸	健診機関の医師が、左記の検査項目の結果より、痛風に対する指導区分 A1・B1・C1・C2・D2・D3を判定する

胸部X線検査（ファイル項目説明書中、P6 項目順番「72 胸部指導区分」）

検査名称	胸部指導区分
胸部X線	健診機関の医師が、左記の検査項目の結果を総合的にみて、胸部全般に対する指導区分 A1・B1・C1・C2・D2・D3 を判定する（注意：結核に限定するものではない）

(1)生活規正の面				
判定記号	A	B	C	D
(2) 1	A1	B1	C1	
医療 2			C2	D2
の面 3				D3

2 生活習慣病指導区分(ファイル項目説明書中、各「指導区分」)
(北九州市職員衛生管理規則第17・18条に基づく健康診断の結果の判定及び措置)

(1)生活規正の面(区分A・B・C・D)

区分		事後措置の基準
A	勤務を休む必要がある程度の病状であるもの	症状に応じ、自宅療養又は入院治療させ、就業を禁止する
B	勤務に制限を加える必要がある程度の病状であるもの	深夜勤務、時間外勤務や出張を禁止又は制限し、その他適当な措置をとる
C	勤務をほぼ通常に行ってよい程度の病状であるもの	深夜勤務、時間外勤務や出張等を必要に応じて制限する
D	勤務を通常に行ってよいもの	

(2)医療の面(区分1・2・3)

区分		事後措置の基準
1	医師による治療を必要とするもの	未治療のときには早急に受診させ、治療中は主治医の指示に従い治療を受けるよう指示する
2	医師による観察を必要とするもの	定期的な観察をするための検査及び発病や再発防止のために必要な指導等を行う
3	治療も観察も必要としないもの	

R8年度 ファイル項目説明書

別紙10

ファイル名称 定期健康診断結果ファイル(定期)

項目順番		項目名称	内 容 説 明
1	A	健診機関コード	九州健康総合センター;10、小倉記念病院;20、小倉医師会;30、西日本産業衛生会;40、門司医師会;50、新小文字病院;73、福岡新水巻病院;76、その他;99
2	B	職員人事情報	正規=1、再任用=2、その他=3
3	C	所属コード	問診票の所属コードをパンチ(半角)
4	D	職員番号	問診票の職員番号をパンチ(半角7~8桁) ※一部職員はアルファベットを含む
5	E	氏名	問診票の氏名をパンチ(全角) ※氏名の間にスペース(全角)
6	F	カナ氏名	問診票のカナ氏名をパンチ(半角) ※氏名の間にスペース(半角)
7	G	性別	男=1、女=2
8	H	生年月日	西暦年月日(YYYYMMDD)
9	I	年齢	半角数字(年度末での年齢)
		健診結果情報	
10	J	健診年月日	西暦年月日(YYYYMMDD)
		身体測定	
11	K	身長	999V9 (cm)
12	L	体重	999V9 (kg)
13	M	標準体重	999V9 (kg) 標準体重=身長(m)×身長(m)×22 小数点以下第2位四捨五入
		肥満度	
14	N	BMI	99V9 BMI=体重(kg)÷身長(m)2 小数点以下第2位四捨五入
15	O	肥満度判定	自動判定基準(教育委員会仕様)により設定
			18.5以上25.0未満 N
			18.4以下 25.0以上 N2
			35.0以上 N3
			身体測定未検査 X
		視力検査	
16	P	右目裸眼	0.1未満=01#、0.1=01、1.2=12、指数=400、明暗=800、光覚なし=900
17	Q	右目矯正	0.1未満=01#、0.1=01、1.2=12、指数=400、明暗=800、光覚なし=900
18	R	左目裸眼	0.1未満=01#、0.1=01、1.2=12、指数=400、明暗=800、光覚なし=900
19	S	左目矯正	0.1未満=01#、0.1=01、1.2=12、指数=400、明暗=800、光覚なし=900
20	T	視力判定	自動判定基準(教育委員会仕様)により設定
			左右両方が1.0以上(矯正でも可) (治療中を除く) N
			0.7以上0.9以下 (治療中を除く) N2
			0.6以下(義眼・光覚・指数) (治療中を除く) N3
			治療中 Z
			視力検査未検査 X

項目順番		項目名称	内 容 説 明	
		聽力検査		
21	U	聽力右1000Hz	0=所見なし、1=所見あり、9=未検査	
22	V	聽力左1000Hz	0=所見なし、1=所見あり、9=未検査	
23	W	聽力判定1000Hz	自動判定基準(教育委員会仕様)により設定	
			30dB以下 (治療中を除く) N	
			35dB (治療中を除く) N3	
			40dB以上 (治療中を除く) W	
			治療中 Z	
			補聴器使用 Y	
			聽力(1000Hz)検査未検査 X	
24	X	聽力右4000Hz	0=所見なし、1=所見あり、9=未検査	
25	Y	聽力左4000Hz	0=所見なし、1=所見あり、9=未検査	
26	Z	聽力判定4000Hz	自動判定基準(教育委員会仕様)により設定	
			30dB以下 (治療中を除く) N	
			35dB (治療中を除く) N3	
			40dB以上 (治療中を除く) W	
			治療中 Z	
			補聴器使用 Y	
			聽力(4000Hz)検査未検査 X	
		血圧		
27	AA	血圧 収縮期	999 (mmHg)	
28	AB	血圧 拡張期	999 (mmHg)	
29	AC	血圧判定	自動判定基準(教育委員会仕様)により設定	
			収縮期が130未満かつ拡張期が80未満 (治療中を除く) N	
			収縮期が130以上139以下又は拡張期80以上89以下 (治療中を除く) N2	
			収縮期が140以上159以下又は拡張期90以上99以下 (治療中を除く) N3	
			収縮期が160以上又は収縮期が100以上 (治療中を除く) W	
			治療中 Z	
			血圧検査未検査 X	

項目順番		項目名称	内 容 説 明	
		尿検査		
30	AD	尿糖	0=−、1=±、2=+、3=++、4=+++以上、9=未検査	
31	AE	尿糖判定	自動判定基準(教育委員会仕様)により設定	
		−(糖尿病治療中を除く)	N	
		±以上 (糖尿病治療中を除く)	N3	
		糖尿病治療中	Z	
		尿検査未検査	X	
32	AF	尿蛋白	0=−、1=±、2=+、3=++、4=+++以上、9=未検査	
33	AG	尿蛋白判定	自動判定基準(教育委員会仕様)により設定	
		− (治療中を除く)	N	
		± (治療中を除く)	N2	
		+(治療中を除く)	N3	
		++以上 (治療中を除く)	W	
		治療中	Z	
		尿検査未検査	X	
34	AH	尿潜血	0=−、1=±、2=+、3=++、4=+++以上、8=生理中、9=未検査	
35	AI	尿潜血判定	自動判定基準(教育委員会仕様)により設定	
		−(治療中を除く)	N	
		±(治療中を除く)	N2	
		+(治療中を除く)	N3	
		++以上(治療中を除く)	W	
		治療中	Z	
		生理中の判定は「−」以外すべて	Y	
		尿検査未検査	X	
		※生理中の場合は尿蛋白のみで腎機能判定をおこなう		
		血液検査		
36	AJ	血色素量	99V9 (g/dl)	
37	AK	赤血球数	999 ($\times 10^4$ 個/mm ³)	
38	AL	ヘマトクリット	99V9 (%)	
39	AM	貧血判定	自動判定基準(教育委員会仕様)により設定	
		男は、血色素量が13.1以上16.3以下かつ、赤血球が384以上525以下かつ、ヘマトクリットが39.8以上51.8以下 (治療中を除く)	N	
		女は、血色素量が12.1以上14.5以下かつ、赤血球が345以上460以下かつ、ヘマトクリットが33.4以上44.9以下 (治療中を除く)	N	
		医師の判断による総合判定 (治療中を除く)	N2~W	
		治療中	Z	

項目順番		項目名称	内 容 説 明	
		白血球数		
40	AN	白血球	999 ($\times 10^2$ 個/ mm^3)	
41	AO	白血球判定	自動判定基準(教育委員会仕様)により設定 31以上84以下 (治療中は除く) N 医師の判断による総合判定(治療中は除く) N2~W 治療中 Z	
		血小板数		
42	AP	血小板	99V9 ($\times 10^4$ 個/ mm^3)	
43	AQ	血小板判定	自動判定基準(教育委員会仕様)により設定 14.5以上32.9以下 (治療中を除く) N 医師の判断による総合判定 (治療中を除く) N2~W 治療中 Z	
		肝機能検査		
44	AR	GOT(AST)	9999 (IU/l)	
45	AS	GPT(ALT)	9999 (IU/l)	
46	AT	γ -GTP	9999 (IU/l)	
47	AU	肝機能判定	自動判定基準(教育委員会仕様)により設定 GOT(AST)が30以下かつ、GPT(ALT)が30以下かつ、 γ -GTPが50以下 (治療中を除く) N GOT(ALT)が31以上50以下又は、GPT(ALT)が31以上50以下又は、 γ -GTPが51以上100以下 (治療中を除く) N2 GOT(ALT)が51以上又は、GPT(ALT)が51以上又は、 γ -GTPが101以上 (治療中を除く) N3 医師の判断による総合判定 (治療中を除く) W 治療中 Z	
		血中脂質検査		
48	AV	総コレステロール	999 (mg/dl)	
49	AW	中性脂肪	9999 (mg/dl)	
50	AX	HDLコレステロール	9999 (mg/dl)	
51	AY	LDLコレステロール	9999 (mg/dl)	
52	AZ	食後時間	99V9 (h)	
53	BA	血中脂質判定	自動判定基準(教育委員会仕様)により設定 中性脂肪(空腹時)150未満、(随時)175未満かつ、HDLコレステロールが40以上かつ、LDLコレステロールが60以上119以下 (治療中を除く) N 医師の判断による総合判定 (治療中を除く) N2~W 治療中 Z	

項目順番		項目名称	内 容 説 明
随时血糖			
54	BB	随时血糖	999 (mg/dl)
55	BC	血糖食後時間	99V9 (h)
56	BD	ヘモグロビンA1C	99V9 (%)
57	BE	血糖判定	自動判定基準(教育委員会仕様)により設定
			血糖99以下かつ、HbA1c5.5以下 (治療中を除く) N
			HbA1c5.6以上6.4以下 (治療中を除く) N2
			HbA1c6.5以上7.9以下 (治療中を除く) N3
			HbA1c8.0以上又は、医師の判断による総合判定 (治療中を除く) W
			治療中 Z
腎機能検査			
58	BF	クレアチニン	99V99 (mg/dl)
59	BG	クレアチニン判定	自動判定基準(教育委員会仕様)により設定
			男性1.00以下、女性0.7以下 (治療中を除く) N
			医師の判断による総合判定 (治療中を除く) N2~W
			治療中 Z
			※個人票には表示なし
60	BH	e-GFR	999 (ml/min/1.73m ²)
61	BI	e-GFR判定	自動判定基準(教育委員会仕様)により設定
			60以上 (治療中を除く) N
			45以上59.9以下 (治療中を除く) N2
			45未満 (治療中を除く) N3
			医師の判断による総合判定 (治療中を除く) W
			治療中 Z
尿酸			
62	BJ	尿酸	99V9 (mg/dl)
63	BK	尿酸判定	自動判定基準(教育委員会仕様)により設定
			2.1以上7.0以下 (治療中を除く) N
			7.1以上7.9以下 (治療中を除く) N2
			2.0以下又は、8.0以上8.9以下 (治療中を除く) N3
			9.0以上 (治療中を除く) W
			治療中 Z
心電図			
64	BL	心電図所見1~3	所見を心電図所見コード表(北九州市仕様)により分類し、
	BM		その該当するコードをパンチ (最大3個まで入力可能)
	BN		
65	BO	心電図判定	所見をもとに医師の判断による総合判定 N~Z

項目順番		項目名称	内 容 説 明
		胸部レントゲン	
66	BP	撮影区分	1=直接撮影、2=間接撮影、9=未検査
67	BQ	胸部撮影年月日	西暦年月日(YYYYMMDD)
68	BR	結核判定	0=結核異常なし、1=結核異常あり、9=未検査
69	BS	胸部判定	医師の判断による総合判定 N=基準値、N2=要観察、N3=要再検査、 W=精密検査・治療が必要、Z=治療中、X=未検査
70	BT BU BV	胸部所見1~3	所見を胸部X線所見(北九州市仕様)により分類し、 その該当するコードをパンチ(最大3個まで入力可能)
71	BW	結核病型	結核のみ記入する。(所見コードが01~05の場合のみ入力する) 結核の病型を、結核病型コード表(北九州市仕様)によりパンチ r I 1=R11、l III 2=L32、r V3=R53、b II 2=B22、r IV0H=R40Hなど
72	BX	胸部指導区分	健診機関の医師が、所見等を総合的に判断し決定した A1、B1、C1、C2、D2、D3のいずれかをパンチ
		胃検診	
73	BY	胃部撮影年月日	西暦年月日(YYYYMMDD)
74	BZ	胃部判定	医師の判断による総合判定 N=基準値、N2=要観察、N3=要再検査、 W=精密検査・治療が必要、Z=治療中、X=未検査
		問診票情報	
75	CA CB CC CD	既往歴1~4	問診票の既往歴欄に記入されている病名の病名コードをパンチ (最大4個まで入力可能)
76	CE CF CG	療養中病名1~3	問診票の療養中病名欄に記入されている病名の病名コードをパンチ (最大3個まで入力可能)
77	CH	定期検査中病名	問診票の定期的に検査を行っている病名欄に記入されている病名の 病名コードをパンチ(最大1個まで入力可能)
78	CI CJ CK CL CM	自覚症精神1~5	問診票の自覚症状の精神面(番号21~25)の欄に記入されている ○症状のコードをパンチ(最大5個まで入力可能)
79	CN CO CP CQ CR	自覚症身体6~10	問診票の自覚症状の身体面(番号1~19、30、31)の欄に記入されている ○及び○症状のコードをパンチ(最大5個まで入力可能)
80	CS CT CU CV	他覚症状1~4	個人票の他覚症状の欄に記入されている症状のコードをパンチ (最大4個まで入力可能)
81	CW	喫煙習慣	問診票の喫煙状況の欄に記入されている記号をパンチ
82	CX	空番	空白セルでお願いします。
83	CY	飲酒の頻度	問診票の飲酒の状況の欄に記入されている記号をパンチ
84	CZ	飲酒の量	問診票の飲酒の量の欄に記入されている記号をパンチ
85	DA	運動の状況	問診票の運動の状況の欄に記入されている記号をパンチ

項目順番		項目名称	内 容 説 明	
		<u>医師の総合判定結果</u>		
86	DB	循環器指導区分	(喫煙状況・BMI・血圧・心電図・中性脂肪・HDLコレステロール・LDLコレステロール・眼底)の項目を 健診機関の医師が総合的に判断し決定した A1、B1、C1、C2、D2、D3 のいずれかをパンチ	
87	DC	糖尿病指導区分	(随時血糖・ヘモグロビンA1C・眼底)の項目を 健診機関の医師が総合的に判断し決定した A1、B1、C1、C2、D2、D3 のいずれかをパンチ	
88	DD	腎機能指導区分	(尿蛋白・尿潜血・クレアチニン・eGFR)の項目を 健診機関の医師が総合的に判断し決定した A1、B1、C1、C2、D2、D3 のいずれかをパンチ	
89	DE	肝機能指導区分	(GOT・GPT・γ-GTP)の項目を 健診機関の医師が総合的に判断し決定した A1、B1、C1、C2、D2、D3 のいずれかをパンチ	
90	DF	痛風指導区分	(尿酸)の項目を健診機関の医師が総合的に判断し決定した A1、B1、C1、C2、D2、D3 のいずれかをパンチ	
91	DG	腹囲	999V9 (cm)	
92	DH	腹囲判定	自動判定基準(教育委員会仕様)により設定 男は、85cm未満はN、85cm以上はN2、未検査はX 女は、90cm未満はN、90cm以上はN2、未検査はX	
93	DI	女性該当項目	男性および該当なしは0、生理中は1、妊娠中は2	
		<u>眼底検査</u>		
94	DJ	検査年月日	西暦年月日(YYYYMMDD)	
95	DK	Keith-Wagner 分類	1=0、2=I、3=IIa、4=IIb、5=III、6=IV、7=判定不能	
96	DL	Sheie分類 H	1=0、2=1、3=2、4=3、5=4、6=判定不能	
97	DM	Sheie分類 S	1=0、2=1、3=2、4=3、5=4、6=判定不能	
98	DN	Wong-Mitchel分類	1=所見なし、2=軽度、3=中等度、4=重症、5=判定不能	
99	DO	眼底判定	自動判定基準(教育委員会仕様)により設定 KW:所見なし、Sheie H:0、Sheie S:0、WM:所見なし N KW: I ~ IIa、Sheie H:1~2、Sheie S:1~4、KW:軽度 N2 KW: IIb~IV、Sheie H:3以上、中等度以上 N3 医師の判断による総合判定(治療中は除く) W 治療中 Z 眼底未検査 X	
100	DP	眼底所見1~2	所見を眼底所見(教育委員会仕様)により分類し、	
	DQ		その該当するコードをパンチ(最大2個まで入力可能)	